

2019 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	概括	1
II	部会関係	2
	1. ボイラ・原動機部会	2
	2. 鉦山機械部会	2
	3. 化学機械部会	3
	4. 環境装置部会	4
	5. タンク部会	12
	6. プラスチック機械部会	13
	7. 風水力機械部会	14
	8. 運搬機械部会	15
	9. 動力伝導装置部会	17
	10. 製鉄機械部会	17
	11. 業務用洗濯機部会	18
	12. エンジニアリング部会	18
III	委員会関係	20
	1. 政策委員会	20
	2. 労務委員会	21
	3. 貿易委員会	21
	4. 編集広報委員会	22
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	22
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	23
	7. 環境委員会	23
	8. エコスラグ利用普及委員会	24
IV	関西支部関係	25
V	共通基盤事業関係	28
VI	共通基盤活動関係	31

I 概括

2019年度のわが国経済は、米中貿易摩擦、中国の景気減速、ブレグジット問題の混迷などを背景とした世界経済の減速により輸出や生産が落ち込んだことに加え、10月の消費税率引き上げ等の影響により10～12月期GDPがマイナス成長となり、更に新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により国内の幅広い産業が打撃を受ける等、景気後退の懸念が強まった。

そのような状況のもと、一般社団法人日本産業機械工業会（以下、当工業会という）の2019年度の受注は、外需の減少により、前年度比8.4%減の4兆7,879億円と2年ぶりに前年度を下回った。内需については非製造業向けと官公需が増加し4年ぶりに前年度を上回り、外需については北アメリカ、アフリカ、ロシア・東欧向けの減少により2年ぶりに前年度を下回った。

こうした中、当工業会は各部会・委員会活動を通じて、わが国経済の持続的成長、社会的課題の解決、産業機械産業の更なる発展に向けた各種事業に取り組んだ。

国際交流・技術協力の推進に関する事業では、海外貿易会議の開催や海外調査団の派遣等、今後の海外ビジネス環境の動向等について調査を行った。

標準化に関しては、日本産業規格（JIS）、国際標準化機構（ISO）、工業会規格（JIMS）等の規格の制定・改正に取り組んだ。

安全対策と産業事故等の防止については、ボーリングマシンのリスクアセスメントに係るガイドライン、メカニカルシールハンドブック「事故ゼロへのアプローチ」、コンベア及び立体自動倉庫のリスクアセスメントのガイドライン、大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドラインの作成等を行った。

地球環境問題への取り組みについては、環境活動基本計画による地球温暖化対策等の推進を図った他、エコスラグの利用普及、優秀環境装置の表彰、環境装置・技術による環境負荷低減効果に関する調査研究、欧州でのプラスチックリサイクル制度に関する調査等を行った。

調査研究については、バイオマス発電・IoT活用・リサイクルの高度化等新たな環境ビジネスの創出に関する調査研究、プラスチック機械に関する米中間の貿易規制の調査、動力伝導装置の欧州RoHS指令への対応に関する調査、製鉄機械の貿易規制に関する調査、業務用洗濯機の耐用年数変更に向けた検討等を行った。

その他、新型コロナウイルス感染拡大の影響等の情報収集・提供やセーフティーネット保証等への対応、適正取引の推進に向けた行動計画の推進、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応等を行った。

これら事業等の実施にあたっては、関係省庁及び関連団体並びに多数の有識者から様々な形で協力を賜った。

ここに会員共々関係各位に厚く感謝の意を表するものである。

Ⅱ 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

- (1) 統計調査の実施と分析
関連機械に関する受注等の統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- (2) 省エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進
ア. 2019年11月19日に一般社団法人日本ガス協会を訪問し、天然ガス資源、都市ガス事業の動向等について調査を行った。
イ. 「低炭素設備リース信用保険」対象製品を選定し、一般社団法人低炭素投資促進機構に登録した。
- (3) 施設調査の実施
2020年1月30日に沖縄製糖株式会社 宮古工場を訪問し、原糖を生産するライン及びバガス燃焼ボイラの調査を行った。
- (4) 女性職員間の交流会の実施
2019年11月13日に国会議事堂等の見学会及び交流会を開催した。
- (5) 関係行政機関及び関連団体等への協力
国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。
ア. ISO/TC161（ガス及び/又は油用制御器及び防護装置）国内対策委員会及びWG
イ. ISO/TC109（オイル及びガスバーナー）国内対策委員会

2. 鋳山機械部会

- (1) 統計調査の実施と分析
関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- (2) 標準化の推進
JIS M 0103（ボーリング用機械・器具用語）の改正原案を作成した。
- (3) 機械安全の推進
ア. ボーリングマシンに関する「安全マニュアル」の改訂版を作成した。
イ. ボーリングマシンのリスクアセスメントに係るガイドラインを作成した。
ウ. 骨材プラントに関する「安全マニュアル」の普及活動を行った。
- (4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施
ア. 講演会
2019年7月18日に次の講演会を開催した。
テーマ：「改正健康増進法と分煙環境整備等について」
講師：佐藤 泰之 殿 日本たばこ産業株式会社

イ. 施設調査

2019年5月23日に沢井製薬株式会社 九州工場を訪問し、医薬品製造設備の視察をした。

ウ. 研修会

2019年10月17日に「砕石フォーラム2019 全国砕石技術大会」にて会員企業が自社製品の講演を行った。

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

今後の鉱山機械業界及び関連業界の需要動向について、経済産業省及び一般社団法人日本砕石協会会員企業と意見交換を行った。

3. 化学機械部会

(1) 調査研究の実施

ア. 化学機械分野における環境対応、省エネルギー技術の情報交換を行った。

イ. 若手社員育成のために基礎講座を2019年6月21日に次の通り開催した。

・テーマ：プラント機器の紹介

講師：迎 崇博 殿 月島機械株式会社 産業事業本部 プラント計画部
副部長

・テーマ：熱交換器とその応用製品の紹介

講師：塩見 裕 殿 株式会社ササクラ 常務取締役 東京支社長
松永 裕衣 殿 株式会社ササクラ 水処理事業部
東京水処理営業室 主任

・テーマ：化学プラント機器の溶接と腐食

講師：新谷 大介 殿 木村化工機株式会社 エンジニアリング事業部
技術部 主事

(2) 講演会の実施

2019年7月9日に次の通り開催した。

テーマ：ヒートポンプ・蓄熱システムの至近の動向と省エネ取組事例

講師：渡辺 公紀 殿 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 兼
国際・技術研究部 次長

曾我 拓央 殿 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 兼
国際・技術研究部 課長

(3) 関連施設調査の実施

2019年9月19日に次の通り開催した。

ア. 株式会社日本製鋼所 室蘭製作所を訪問し、鍛錬工場、圧延工場、機械工場及び瑞泉鍛刀所の視察を行った。

イ. 月島機械株式会社 室蘭工場を訪問し、乾燥機などの製造工場の視察を行った。

(4) 海外動向調査の実施

2019年10月31日～11月3日にタイへ調査団を派遣し、MRP ENGINEERING CO., LTD. の製缶、機械加工工場及びAJINIMOTO CO., (THAILAND) LTD. アユタヤ工場のうま味調味料「味の素」の生産工場の視察を行った。

4. 環境装置部会

(1) 役員改選

2019年4月9日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：三野 禎男 日立造船株式会社 代表取締役副社長（再任）

副部会長：三好 敬久 荏原環境プラント株式会社

取締役 エンジニアリング本部 本部長（新任）

副部会長：品部 和宏 株式会社クボタ 常務執行役員 環境事業部長（再任）

副部会長：澁谷 榮一 JFE エンジニアリング株式会社 技監（再任）

副部会長：竹口 英樹 株式会社タクマ 取締役専務執行役員

エンジニアリング統轄本部長 兼 管理センター長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。

(3) 標準化の推進

当工業会が原案作成団体となっている環境関連JISについて、使用状況の調査に基づき、改定の必要性について意見を聴取した。

(4) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

環境装置産業としてのビジネスチャンス拡大に向け、環境装置産業業界としてのSDGsへの取組方法等の検討を行うと共に行政機関への政策提言等を取りまとめるために、国内外の政府、地方自治体、民間企業や業界団体等におけるSDGsへの取り組みの詳細な動向調査を行い、中間報告を取りまとめた。

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

a. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

地球温暖化防止に向けた政策・技術動向、資源・エネルギーの有効活用技術、バイオマス灰・石炭灰の有効利用動向、AIを活用した異音検知技術について情報収集を行った。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

海洋プラスチックごみ問題の現状とわが国の取組、政府における水環境分野における国際協力・海外展開への取組、下水道における資源・エネルギー回収の動向、上下水道事業の運営・施設管理に関する情報収集を行った。

c. バイオマス発電に関する調査研究

再生可能エネルギーの固定価格買取制度、エネルギーミックスやバイオマスに関する政策、脱炭素経営の動向、発電及び熱利用技術・事業に関する情報収集を行った。

d. 先端技術に関する調査研究

2030年頃の社会実装や2050年以降の実用化を目途とした、将来の環境ビジネスに資するであろう最先端の研究開発技術の調査、及びその背景である国内外の動向について幅広く情報収集を行った。

e. IoTの活用に関する調査研究

デバイス・クラウド・アプリケーション等のIoTを形作るレイヤーの技術動向や、ISO/IECはじめ国内外の標準化・ガイドライン制定・デファクトスタンダード化の動向、及び、先端的な取組みについて情報収集を行った。

f. リサイクルの高度化に関する調査研究

家電や自動車等のリサイクル技術の高度化及び事業機会の創出を図るため、環境装置メーカーとリサイクル事業者との情報交換を行うと共に、廃プラスチック及びシュレッターダストの処理・リサイクル技術、プラスチック資源循環に関する政策動向、太陽光発電パネルやリチウムイオン電池など今後排出量の増加が見込まれる廃棄物のリサイクル技術について情報収集を行った。

g. セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2019年5月21日

テーマ：水素社会実現に向けた国内外の取り組み状況

講師：河村 好一 殿 株式会社三菱総合研究所
環境・エネルギー事業本部
スマートコミュニティグループ 研究員

2019年5月29日

テーマ：ポストFITのビジネスモデル

講師：瀧口信一郎 殿 株式会社日本総合研究所
創発戦略センター シニアスペシャリスト

2019年6月7日

テーマ：バイオマス発電の現状と課題について

講師：神沢 吉洋 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 課長補佐

2019年6月12日

テーマ：有機物減容再生セラミック製造装置 ERCM

講師：荒木 國臣 殿 株式会社ASK 商会 会長
高田 直弘 殿 株式会社エヌエイオー 代表取締役社長

2019年6月14日

テーマ：レアアース泥の活用に向けた開発の現状と課題

講師：加藤 泰浩 殿 東京大学大学院 工学系研究科
資源・エネルギーフロンティアセンター
センター長・教授

2019年6月19日

テーマ：下水道事業へのBIM/CIMの導入促進に向けた取組

講師：栗原 崇晃 殿 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
下水道事業課 事業マネジメント推進室
課長補佐

2019年6月25日

テーマ：経済産業省によるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進について

講師：和泉 憲明 殿 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課
ソフトウェア産業戦略企画官

2019年7月11日

テーマ：国際的な気候変動イニシアティブへの対応に関するガイダンス

講師：渡辺ゆきえ 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境政策課
環境経済室 係長

2019年7月12日

テーマ：イエバエを用いたバイオマスリサイクルシステム事業について

講師：流郷 綾乃 殿 株式会社ムスカ 代表取締役 CEO

2019年7月30日

テーマ：脳の仕組みに基づいた Deep Neural Network の表現学習法
講師：篠崎 隆志 殿 国立研究開発法人情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター
脳情報通信融合研究室 研究員

2019年8月8日

テーマ：プラスチック資源循環に関する動向について
講師：末藤 尚希 殿 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課
課長補佐
テーマ：廃プラスチック類等に係る処理の円滑化等について
講師：小岩 真之 殿 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課
総括補佐

2019年8月21日

テーマ：バイオガス事業の現状と今後の課題
講師：岡庭 良安 殿 一般社団法人 地域環境資源センター
バイオガス事業推進協議会 事務局長

2019年8月23日

テーマ：宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）に
ついて
講師：大沼 伸 殿 宮城県 企業局 水道経営課
技術副参事 兼 課長補佐（総括担当）

2019年9月12日

テーマ：NEDO事業における未利用熱活用 技術開発の最新動向
講師：近藤 篤 殿 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合
開発機構 省エネルギー部「未利用熱エネルギーの革新的活用技術研究開発」プロジェクトマ
ネージャー

2019年9月12日

テーマ：下水道事業の未来像～新たなビジネスの可能性は？！～
講師：岡久 宏史 殿 公益社団法人日本下水道協会 理事長

2019年9月27日

テーマ：バイオマス灰の有効利用技術の開発
講師：和嶋 隆昌 殿 千葉大学 大学院 融合理工学府
地球環境科学専攻 准教授

2019年9月30日

テーマ：IoTへの挑戦とAI活用で実現するイノベーションの未来
講師：門田 一郎 殿 アマゾンウェブサービスジャパン株式会社
エリア統括本部 中堅・中小企業DX担当
IoTソリューション・スペシャリスト

2019年10月8日

テーマ：水道事業の経営課題と将来予測
～官民連携（PPP/PFI）を活用した広域化～
講師：恩田 恭良 殿 株式会社日本政策投資銀行 地域企画部 課長
森崎 匠哉 殿 株式会社日本政策投資銀行 地域企画部
副調査役

2019年10月17日

テーマ：太陽光パネルリサイクルの現状と課題
講師：平林 実 殿 平林金属株式会社 代表取締役社長

- テーマ：ITがもたらす資源リサイクラーの变革
 講師：福田 隆 殿 東港金属株式会社 代表取締役
 2019年10月30日
 テーマ：CPSF及び第2層TF関連の動向について
 講師：上田 翔太 殿 経済産業省 商務情報政策局
 サイバーセキュリティ課 課長補佐
 2019年11月6日
 テーマ：Digital Nature（計算機自然）の実現と技術シーズの事業化に向けた取り組み
 講師：野村 大輔 殿 ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
 マネージング・ディレクター
 2019年11月6日
 テーマ：パリ協定の気候変動対策 世界と日本の動向
 講師：高村ゆかり 殿 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
 2019年11月7日
 テーマ：石炭灰の現状と有効利用
 講師：石川 嘉崇 殿 日本フライアッシュ協会 技術参与
 2019年11月26日
 テーマ：パリ協定後の動向整理
 ～科学と国際交渉の進展、金融グリーン化への対応～
 講師：柳 美樹 殿 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
 環境ユニット 気候変動グループ 研究主幹
 森本 壮一 殿 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
 環境ユニット 気候変動グループ 研究員
 2019年12月10日
 テーマ：機能安全の規格とマネジメントシステム規格等情報セキュリティに関する認証について
 講師：仲矢 新 殿 一般財団法人日本品質保証機構 企画センター
 カスタマーリレーション部 特別参与
 2019年12月13日
 テーマ：人工細胞リアクタ
 講師：野地 博行 殿 東京大学 工学系研究科 応用化学専攻 教授
 2019年12月17日
 テーマ：水環境分野における国際協力・海外展開
 講師：橋本 翼 殿 環境省 水・大気環境局 水環境課 課長補佐
 テーマ：海洋プラスチックごみ対策について
 講師：飯野 暁 殿 環境省 水・大気環境局 水環境課
 海洋環境室 室長補佐
 2019年12月24日
 テーマ：NEDOの「太陽光発電リサイクル技術開発プロジェクト」について
 講師：嶋田 聡 殿 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合
 開発機構 新エネルギー部 太陽光グループ
 主査
 テーマ：プラスチックマテリアルリサイクルに関する新しい技術展開
 講師：八尾 滋 殿 福岡大学 工学部 化学システム工学科 教授
 テーマ：臨場型遠隔映像システムT-iROBO Remote Viewer
 講師：加藤 崇 殿 大成建設株式会社 技術センター
 先進技術開発部 次世代建設技術開発室

2019年12月25日

テーマ：高温水による都市ごみ、海洋プラスチック、シュレッターダスト等からの気体及び固体燃料製造技術

講師：佐古 毅 殿 静岡大学 創造科学技術大学院
名誉教授・特任教授

テーマ：光学識別法を用いる次世代ソーティング機器の開発動向

講師：河済 博文 殿 近畿大学 産業理工学部 生物環境化学科
教授

2020年1月21日

テーマ：木質バイオマス熱利用に係る最新動向について

講師：川越 裕之 殿 一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 専門調査員

2020年1月21日

テーマ：Hmcomm会社紹介、ソリューション紹介

講師：工藤 賢太 殿 Hmcomm株式会社 営業部
相田 直伸 殿 Hmcomm株式会社 営業部

2020年1月22日

テーマ：SORACOMを活用したIoTの先進的事例のご紹介

講師：松下 享平 殿 株式会社ソラコム
テクノロジー・エバンジェリスト

2020年1月31日

テーマ：回転機器の予知保全システムを構築する際の現在の問題点（設備状態監視・診断システムの問題点、現状、展望）

講師：陣山 鵬 殿 三重大学 大学院生物資源学研究科
共生環境学専攻 教授

2020年2月6日

テーマ：人工光合成技術開発の現状と展望 CO2排出の大幅削減に繋がる革新技术への期待

講師：瀬戸山 亨 殿 三菱ケミカル株式会社
エグゼクティブフェロー

2020年2月12日

テーマ：量子水素エネルギー（QHE）利用に向けたクリーンプラネットの取り組み

講師：伊藤 岳彦 殿 株式会社クリーンプラネット
取締役 兼 CTO

2020年2月14日

テーマ：固定価格買い取り制度におけるバイオマス発電の現状と燃料の持続可能性評価

講師：芋生 憲司 殿 東京大学 大学院 農学生命科学研究科
生物機械工学研究室 教授

2020年2月18日

テーマ：AI×IoTビジネスに関する特許戦略

講師：夫馬 直樹 殿 特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK 東京本部 IoT×AI支援室 弁理士

2020年3月3日

テーマ：ESG投資を引きつけるSDGsビジネスとは何か

講師：橋爪麻紀子 殿 株式会社日本総合研究所
創発戦略センター/ESGリサーチセンター

マネジャー

- ② 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査
- 2019年4月11日
沖縄電力株式会社 本店
(離島の電力供給・ユニバーサルサービス維持)
- 2019年5月8日
高座クリーンセンター
(高効率ごみ発電施設)
- 2019年5月15日
そうまIHIグリーンエネルギーセンター
(地産地消型スマートコミュニティ事業)
- 2019年6月11日
株式会社日本ベネックス 本社工場
(リユース蓄電池システム)
- 2019年6月12日
唐津市清掃センター
(一般廃棄物基幹改良工事における小規模蒸気発電)
- 2019年6月12日
みやま市バイオマスセンター「ルフラン」
(地域バイオマスのメタンガス化発電施設)
- 2019年7月9日
新潟県西川浄化センター
(下水資源・エネルギーを活用した植物栽培の実証実験)
- 2019年7月9日
新潟市中部下水処理場
(下水汚泥と刈草の混合消化)
- 2019年7月31日
大崎クールジェン株式会社
(次世代火力発電等技術開発、石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業、
CO2分離・回収型IGFC実証)
- 2019年7月31日
はつかいちエネルギーグリーンセンター
(エネルギー回収型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設)
- 2019年8月20日
JFEプラリソース株式会社 水江原料化工場及びNFボード製造工場
(容器包装プラスチックの高炉原料化、材料リサイクル)
- 2019年8月22日
新庄市浄化センター
(ICT活用による周辺処理場の集中管理)
- 2019年8月22日
鶴岡浄化センター
(消化ガス発電事業と農業等への余熱利用)
- 2019年8月29日
雲海酒造株式会社 飼料工場
(焼酎粕のリサイクル)
- 2019年8月30日
宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 内之浦宇宙空間観測所
(ロケットの打ち上げ拠点)

2019年8月30日
水産研究・教育機構 増養殖研究所志布志庁舎
(ウナギの完全養殖)

2019年9月4日
入江崎総合スラッジセンター
(温室効果ガス削減に寄与する発電型汚泥焼却技術)

2019年9月6日
神戸市西水環境センター 垂水処理場
(太陽光発電とバイオガス発電のWエコ発電)

2019年9月6日
大阪市平野下水処理場 脱水分離液処理施設
(アナモックス反応を利用した窒素除去法)

2019年10月3日
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部
門
(遺伝子操作カイコによる機能性蛋白質生産)

2019年10月3日
サイバーダイン スタジオ
(ロボットスーツHAL®の展示・体験施設)

2019年10月11日
住友共同電力株式会社 新居浜西火力発電所
(省エネ型二酸化炭素回収設備「ESCAP®」)

2019年10月11日
内子バイオマス発電所
(小型高効率バイオマス発電所)

2019年10月24日
バンブーエナジー株式会社
(日本初の竹を利用したバイオマス熱電併給設備)

2019年10月25日
御笠川浄化センター
(下水汚泥の低温炭化燃料製造施設)

2019年10月25日
丸福水産株式会社 岩屋養殖場
(ナノバブルを用いたアワビの陸上養殖)

2019年11月11日
株式会社シタラ興産 サンライズFUKAYA工場
(人工知能(AI)ロボットを利用した産業廃棄物の選別施設)

2019年12月6日
関東スチール株式会社
(電炉による小型充電式電池等の廃棄物リサイクル)

2019年12月11日
株式会社Jバイオフードリサイクル 横浜工場
(食品リサイクル・バイオガス発電事業)

2019年12月20日
JFEエンジニアリング株式会社 グローバルリモートセンター
(各種プラントの統合監視センター)

2020年1月15日
東部知多衛生組合 東部知多クリーンセンター (エコリ)

(低炭素型のシャフト炉式ガス化溶融炉)

2020年1月15日

旭鉄工株式会社 本社工場、i Smart Technologies株式会社 オフィス
(先進的かつ低コストなIoTの事例)

2020年2月20日

小松市中央浄化センター
(初沈の代替として超高効率固液分離装置を導入)

2020年2月21日

四交クリーンセンター
(熱回収施設・リサイクル施設)

2020年2月21日

京都市南部クリーンセンター第二工場
(バイオガス化施設を併設した廃棄物発電施設、選別資源化施設)

ウ. クリーンルーム関連情報等調査の実施

国内の市場動向等について情報収集を行った。

エ. 環境装置・技術による環境負荷低減効果に関する調査研究

わが国の産業排水処理技術による環境負荷低減モデルを設定し、温室効果ガス削減効果等を検討した。

a. 施設調査の実施

2019年12月6日

須崎市終末処理場 (DHS システムを用いた水量変動追従型水処理技術)
高知市下知水再生センター (無曝気循環式水処理技術)

(5) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイト上で広く提供した。

(6) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2019年4月9日

テーマ：SDGsとビジネスの今後

講師：石井 麻梨 殿 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
シニアコンサルタント

b. 2020年1月29日

テーマ：環境ビジネスのヒントにするための審議会情報(上期)について

講師：高島由布子 殿 株式会社三菱総合研究所
環境・エネルギー事業本部 副本部長

c. 2020年2月18日

テーマ：資源循環分野における地域循環共生圏の形成に向けた取組について

講師：大沼 康宏 殿 環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課 課長補佐

テーマ：地域循環共生圏の形成と分散型エネルギーシステムの構築について

講師：向井 佑 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 政策課 課長補佐

イ. 環境関連施設調査

a. 2019年11月11日

株式会社IHI 呉第二工場(航空エンジン、ガスタービン製造施設)
ジャパン マリンユナイテッド株式会社 呉事業所(造船工場)

- b. 2019年11月12日
海上自衛隊 第1技術学校（艦艇術科に必要な教育訓練機関）
はつかいちエネルギークリーンセンター（エネルギー回収型廃棄物処理施設、粗大ごみ処理施設）

(7) 関係行政機関及び関連団体への協力

- ア. 経済産業省への協力
3R推進協議会企画運営委員会に委員を派遣した。
- イ. 環境省への協力
環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。
- ウ. 優良環境装置協議会への協力
優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。
- エ. 関連団体への協力
一般社団法人産業環境管理協会、公益社団法人日本空気清浄協会、一般財団法人造水促進センター、日本産業洗浄協議会、一般財団法人日中経済協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

- (1) 統計調査の実施と分析
産業動向等を把握するため、関連機械の動向の調査を行った。
- (2) 標準化の推進
ステンレス製タンクの技術基準案の作成に向けて、2018年度までに取りまとめた問題点、確認事項の内容を基に基準案の骨子を作成した。
- (3) 調査研究の実施
ア. タンク関連の災害対応技術、関連規格及び関連法令について情報収集を行った。
イ. タンク分野の国内、海外市場の動向について情報交換を行った。
- (4) 施設調査の実施
2019年9月20日に株式会社りゅうせき 八重山支店を訪問し、重油タンク等施設の視察を行った
- (5) 講演会の実施
2019年7月3日に次の通り開催した。
テーマ：LNG基地第三者利用制度の利用促進について
講師：皆川 宗仁 殿 経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会事務局
取引監視課 課長補佐
中橋 広至 殿 経済産業省
電力・ガス取引監視等委員会事務局
取引監視課 課長補佐
- (6) 関係行政機関及び関連団体への協力
ア. 消防庁の危険物施設の長期使用に係る調査検討会に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

イ. 消防庁の屋外貯蔵タンクの浮き屋根の安全対策に関するワーキンググループに委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

- ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の3機種について、主要ユーザ業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を公表した。

(2) 標準化の推進

- ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）について、国内審議委員会（射出成形機分科会、押出成形機分科会、ブロー成形機分科会）において国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。
- イ. JIS B 8650（プラスチック加工機械－用語）の改正について検討した。
- ウ. ISO 20430（射出成形機－安全要求事項）と整合する国内規格として JIS B 6711 を制定するために JIS 原案作成委員会を発足し、検討を行った。
- エ. 射出成形機の型締力オンサイト測定法の標準化可能性を検討した。
- オ. プラスチック機械の通信規格の国際標準案として示されている OPC 40077～40084（プラスチック加工機械及びゴム加工機械の OPC UA インターフェース）について検討した。

(3) 機械安全の推進

射出成形機の周辺機器の設置に係る必須安全対策を検討した。

(4) 関連情報収集等調査の実施

- ア. プラスチック機械に関する米国、中国及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。
- イ. プラスチック機械に関する米中間の貿易規制、汚染プラスチックに対するアジア諸国の輸入規制、欧州でのプラスチックリサイクル制度の検討状況について調査及び検討を行った。
- ウ. 二軸押出機の海外輸出規制に係る現状と課題について検討を行った。

(5) 国際交流の推進

欧州プラスチック機械工業会 (EUROMAP) 及び米国プラスチック産業協会 (PLASTICS) と統計の交換を実施した。

(6) 関連団体との交流

- ア. 日本プラスチック機械工業会と情報交換等を行った。
- イ. 2019年12月11日に日本プラスチック機械工業会とドイツ機械工業連盟 (VDMA) が開催した勉強会「欧州プラスチック業界における Industry 4.0の現状と国際規格」に参

加した。

7. 風水力機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

(2) 標準化の推進

- ア. ISO/TC115 (ポンプ) 国際回答原案の作成及び国際会議へ委員を派遣した。
- イ. ISO/TC117 (送風機) 及びISO/TC118 (圧縮機) に関する通知内容を確認・検討した。
- ウ. JIS B 8302 (ポンプ吐出し量測定方法) の改正案の検討を行った。
- エ. JIS B 8306 (油用遠心ポンプ—油を用いる試験方法) の改正案の検討を行った。
- オ. JIS B 8311 (往復ポンプ—試験方法) の改正案の検討を行った。
- カ. JIS B 8312 (歯車ポンプ及びねじポンプ—試験方法) の改正案の検討を行った。
- キ. JIS B 8341 (容積形圧縮機—試験及び検査方法) の改正案作成作業を継続した。
- ク. JIMS C 2005 (空調用送風機の耐塩害仕様基準) の改正案を作成した。
- ケ. JIMS C 4001 [ロータリ・ブロワ (ルーツ式) 製品検査基準] の改正案を作成した。
- コ. JIMS C 4002 [ロータリ・ブロワ (ルーツ式)] の改正案を作成した。

(3) 機械安全の推進

ユーザ向け冊子「メカニカルシールハンドブック 事故ゼロへのアプローチ」を発行した。

(4) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- ウ. ポンプ、送風機関連のJISについて、外部からの技術的な問い合わせに対応した。

(5) 技術セミナー・講演会等の開催

次の技術セミナー等を開催した。

- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー (2019年7月2日)
 - テーマ：回転機の振動について
 - 講師：松下 修己 殿 防衛大学校 名誉教授
 - テーマ：JIS B 8301 (遠心ポンプ、斜流ポンプ及び軸流ポンプ—試験方法) の改正について
 - 講師：浦西 和夫 殿 八戸工業高等専門学校 名誉教授
- イ. メカニカルシール講習会 (2019年7月25日)
 - テーマ：メカニカルシールの基礎及びトラブル事例とその対策
 - 講師：メカニカルシール委員会 技術分科会
- ウ. 送風機技術者連盟 技術講習会 (2019年9月12日)
 - テーマ：ターボ機械におけるCFDの最新動向
 - 講師：渡邊 啓悦 殿 株式会社荏原製作所 風水力機械カンパニー
企画管理技術統括部 技術開発部 兼務
技術・研究開発統括部 製品コア技術研究部 部長
 - テーマ：パラメトリック設計を用いた遠心コンプレッサの自動設計

講師：柏井 正裕 殿 エリオットグループ エンジニアードプロダクツ
プロジェクト&エンジニアリング統括部

エ. プロセス圧縮機講演会 (2020年2月13日)

テーマ：API692 Dry Gas Sealing Systems について

講師：北村 直之 殿 日本ジョン・クレーン株式会社
Solutions Development Manager

(6) 海外施設調査の実施

2019年4月16日～19日の日程でタイへ調査団を派遣し、下記工場の製品の品質管理及び海外での企業活動の課題に対する取り組み等の調査を行った。

- ・ Kao Industrial (Thailand) Co., Ltd.
(ケミカル製品及び消費者向け製品の製造)
- ・ EKK EAGLE (THAILAND) CO., LTD.
(各種メカニカルシール等の製造)
- ・ THAI KYOWA KAKO CO., LTD
(各種送風機等の製造)

(7) 関係省庁及び関連団体への協力

ア. 国土交通省の要請に応じ、「建築設備設計／計画基準 平成30年版」の改訂に協力した。

イ. 一般社団法人公共建築協会の要請に応じ、「機械設備工事機材承諾図様式集」の改訂に協力した。

ウ. 一般社団法人地域環境資源センターの要請に応じ、「農業集落排水施設設計指針」の改訂に協力した。

エ. 一般社団法人建築保全センターの要請に応じ、建築保全業務共通仕様書、建築保全業務積算基準及び同積算要領に関するアンケートに協力した。

8. 運搬機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 標準化の推進

ア. JIS規格への対応

- a. JIS B 8850 (ベルトラッシング) の改正原案を作成した。
- b. JIS B 8825 (仕分けコンベヤ)、JIS B 8942 (立体自動倉庫システム—設計通則)、JIS B 8943 (立体自動倉庫—スタッククレーン設計通則) の改正案を作成した。
- c. シャトル台車式立体自動倉庫システムのJIS制定に向け、規格案を作成した。
- d. JIS B 0148 (巻上機—用語)、JIS B 8803 (ベルトコンベヤ用ローラ)、JIS B 8805 (ゴムベルトコンベヤの計算式)、JIS B 8808 (ポータブルコンベヤ)、JIS B 8814 (ベルトコンベヤ用プーリ) の改正について検討した。

イ. ISO・IEC 等国際規格への対応

- a. ISO/TC111 (丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品) 及び TC111/SC3 (構成要素部品及び付属品) の国際幹事国として TC 及び SC の運営等を行った。
- b. ISO/TC111 国内審議団体として、シャックルに関する ISO 2415 の国際回答原案

の作成及び2019年10月29日～31日に開催されたオランダ国際会議への対応を行った。

- c. ISO/TC111 国内審議団体として、吊り具の靱性評価方法に関する国際回答原案の作成及び2019年10月29日～31日に開催されたオランダ国際会議への対応を行った。

ウ. 団体規格への対応

「ユニバーサルデザインを活かしたエレベーターガイドライン調査報告書（当工業会 平成14年）」と「バリアフリー整備ガイドライン 旅客施設編（国土交通省 平成30年）」との比較調査を行った。

(3) 機械安全の推進

ア. コンベヤ及び立体自動倉庫のリスクアセスメントに係るガイドラインを発行した。

イ. 立体自動倉庫「安全マニュアル スタッククレーン編」の改訂版を作成した。

ウ. チェーン・ローラ・ベルトコンベヤ、仕分けコンベヤ、垂直コンベヤ及び、パレタイザ検査要領書の見直しを引き続き行った。

エ. 大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドラインを2019年6月に発行した。

(4) 展示会等の開催の推進

2020年2月19日～21日「国際物流総合展 INNOVATION EXPO」（東京国際展示場）を共催した。

(5) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

2019年7月22日に次の講演会を開催した。

テーマ：「RFIDの現状 今後の展望と課題」

講師：後藤 雅生 殿 一般社団法人日本自動認識システム協会
研究開発センター 主任研究員

イ. 施設調査

a. 2019年6月7日

株式会社ファンケル美健 滋賀工場を訪問し、化粧品製造工程の視察をした。

b. 2019年8月23日

株式会社岩手ヤクルト工場を訪問し、乳製品の充てん、搬送、箱詰め工程の視察をした。

c. 2019年10月25日

マツダ株式会社 広島本社を訪問し、自動車製造工程の視察をした。

d. 2019年10月31日

コカ・コーラボトラーズジャパン 蔵王工場を訪問し、清涼飲料の充てん、搬送、箱詰め行程の視察をした。

e. 2019年11月7日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構を訪問し、農村工学研究部門、食と農の科学館の視察をした。

f. 2019年11月15日

アサヒビール株式会社 四国工場を訪問し、缶・ビンビール製造工程(充填、搬送ライン、タンク等)の視察をした。

g. 2019年11月27日

三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社を訪問し、発電設備製造工程の

視察をした。

h. 2019年12月6日

本田技研工業株式会社 熊本製作所を訪問し、二輪車製造工程の視察をした。

- (6) 関係行政機関及び関連団体等との交流
経済産業省、関係省庁及び一般財団法人日本規格協会等関連団体との交流を図った。

9. 動力伝導装置部会

- (1) 統計調査の実施と分析
関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- (2) 関連情報収集等調査の実施
ア. 国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。
イ. 海外調査団 (2020年2月13日～16日)
ミャンマーへ調査団を派遣し、次の事業所を訪問した。
a. Myanmar Japan Thilawa Development Limited を訪問し、ティラワ工業団地の現状について説明を受けると共に、ミャンマーへ進出するにあたっての課題、市場動向、将来展望等について意見交換を行った。
b. Yakult Myanmar Co., Ltd. を訪問し、乳酸菌飲料の製造工場の見学を行った。
- (3) 国内外の規制等に関する調査の実施
ア. 海外各国の三相誘導電動機の効率規制について調査を行い、対応を検討した。
イ. 欧州 RoHS 指令への対応について調査を行い、対応を検討した。
- (4) 施設調査等の実施
2019年7月19日に株式会社ソディック加賀事業所を訪問し、工作機械及び食品機械の製造工程を視察した。
- (5) 関係行政機関及び関連団体等との交流
今後の動力伝導装置業界及び関連業界の需要動向について、経済産業省及び一般社団法人日本鉄鋼連盟会員企業と意見交換を行った。

10. 製鉄機械部会

- (1) 統計調査の実施と分析
関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- (2) 関連情報収集等調査の実施
国内外の市場動向、世界各国の関税措置や貿易規制、海外展示会について情報収集等を行った。
- (3) 標準化の推進
JIMS D 1001～1043 (圧延設備) の改正について検討した。

- (4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施
2019年7月24日に次の講演会を行った。
テーマ1：素形材産業の現状と発展に向けた取り組み状況
講師：船橋 善啓 殿 経済産業省製造産業局素形材産業室 室長代理
テーマ2：我が国製造業の現状と競争力強化に向けて
講師：篠原 康人 殿 経済産業省製造産業局金属課 課長補佐
テーマ3：エネルギー・温暖化対策の現状と鉄鋼業の技術開発
講師：田中 良佑 殿 経済産業省製造産業局金属課金属技術室 係員
- (5) 関係行政機関及び関連団体等との交流
今後の製鉄機械業界及び鉄鋼業界の需要動向について、経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業と意見交換を行った。

11. 業務用洗濯機部会

- (1) 統計調査の実施と分析
ア. 関連機械に関する統計調査を実施し、産業動向等について調査・分析を行った。
イ. 統計調査票の見直しの検討を行った。
- (2) エネルギー及び環境関連の情報収集と対応策の検討
ア. 環境、安全、衛生及び省エネルギー対策技術の情報交換を行った。
イ. 洗濯脱水機及び乾燥機について国際関連規格の IS09398 (Specifications for industrial laundry machines)による負荷量の調査を行い、JIMS との比較を行った。
ウ. 耐用年数の変更に向けて検討を行った。
- (3) 関連分野の動向調査
国内、海外市場の動向を調査し、情報交換を行った。
- (4) 施設調査の実施
2019年11月15日に株式会社山本製作所工場を訪問し、クリーニング機械及びコインランドリー機械の製造工場の視察を行った。
- (5) 海外調査の実施
2019年6月20日～23日にアメリカ・ニューオーリンズで開催された「Clean 2019」へ調査団を派遣し、海外業務用洗濯機の技術動向、需要等の調査を行った。
- (6) 関連団体等との協力
日本クリーニング用洗剤同業会と技術動向について情報交換を行った。

12. エンジニアリング部会

- (1) 役員改選
2019年7月29日の部会総会において、次のとおり選任した。
部会長：佐原 新 千代田化工建設株式会社 専務執行役員 (新任)

(2) 調査研究の実施

水素利活用の推進に向けて、規制緩和、2020 東京オリンピック、パラリンピックに向けての動向、水素需要拡大に向けての事業展開の動向等について調査を行った。

(3) 施設調査の実施

ア. 2019 年 9 月 3 日に有明体操競技場を訪問し、世界最大級の木構造梁を使用した会場の視察を行った。

イ. 2019 年 11 月 26 日に株式会社巴商会 新砂水素ステーションを訪問し、構成機器の視察を行った。

(4) 講演会の実施

2019 年 11 月 22 日に次の通り開催した。

テーマ：SDGs 達成とこれからの産業のあり方

講師：星野 智子 殿 一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事

(5) PCI/LF 委員会への協力

2005 年度より PCI (プラントコストインデックス) /LF (ロケーションファクター) 委員会 (日本機械輸出組合主催) の調査研究に参加し、2019 年度版の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

(1) 委員会

2019年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

- ア. 第508回（2019年4月17日）
 - a. 2018年度事業報告（案）及び2018年度決算報告（案）
 - b. 決議（案）
 - c. 2019年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）
 - d. 役員の選任
委員長：新村 高志 株式会社IHI 執行役員（新任）
- イ. 第509回（2019年6月12日）
 - トピックス（スタートアップ・ベンチャー企業との連携）
- ウ. 第510回（2019年7月17日）
 - トピックス（株主総会）
- エ. 第511回（2019年9月11日）
 - a. 2020年度税制改正要望（案）
 - b. 型取引適正化の取組
 - c. 施設調査
株式会社ソディック（工作機械及び食品機械の製造工場）
- オ. 第512回（2019年10月16日）
 - a. 関西大会における提言（案）
 - b. 2019年度海外貿易会議実施報告
 - c. トピックス（なでしこ銘柄）
- カ. 第513回（2019年12月11日）
 - a. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
 - b. 型取引適正化の取組
- キ. 第514回（2020年2月12日）
 - a. 2020年度政策委員会事業計画（案）
 - b. 2020年度産業機械の受注見通し（案）
- ク. 第515回（2020年3月18日）
 - a. 2020年度事業計画（案）及び2020年度収支予算（案）
 - b. 「産業機械工業の低炭素社会実行計画」
 - c. 型取引適正化の取組
 - d. トピックス（新型コロナウイルスの影響）

(2) 税制小委員会

2020年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

(1) 委員会

雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、次のとおり開催した。

ア. 2019年7月度委員会（2019年7月26日）

- a. 2019年度賃金・夏季賞与交渉状況
- b. 出向者（関係会社や他社・団体へ）の取扱
- c. 社会保険手続きの電子申請義務化の取組

イ. 2019年10月度委員会（2019年10月25日）

- a. 2019年度年末賞与交渉状況
- b. 2020年度採用状況
- c. 在宅勤務制度の運用内容
- d. 同一労働・同一賃金の取組
- e. 台風19号の被害状況・復旧状況並びに今後の課題

ウ. 2019年12月度委員会（2019年12月6日）

- a. 講演
テーマ：派遣労働者の同一労働同一賃金
講師：加藤 大吾 殿 厚生労働省 職業安定局 需給調整事業課
課長補佐
- b. 2019年度年末賞与交渉状況
- c. 総合職と一般職以外の区分状況

(2) 労働・雇用状況等の調査

労働、雇用に関する調査を行った。

ア. 2019年度賃金交渉状況調査

イ. 2019年度夏季賞与交渉状況調査

ウ. 2019年度年末賞与交渉状況調査

エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力

- a. 2019年度福利厚生費調査
- b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

(1) 産業機械貿易振興事業

ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ事務所の当工業会の担当窓口において、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。

ウィーン担当：尾森 圭悟

シカゴ担当：小川 ゆめ子

イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、ウェブサイトでの情報提供を行った。

ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

(2) 産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

ア. 海外市場等に関する調査

英国の EU 離脱等により欧州市場が注目を集める中、ドイツ、英国の経済、貿易動向、投資動向、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。

イ. 経済連携協定等に関する動向調査

日米貿易協定に関する動向について情報収集を行った。

(3) 海外貿易会議への協力

経済産業省主催の海外貿易会議（産業機械）の幹事団体として、海外貿易会議（2019年10月6日～14日）のドイツ、英国での開催に際し、内外関連諸機関と協力しつつ、議案・運営方法等の策定及び会議の円滑な運営等に協力を行った。

(4) 講演会の開催

2019年9月13日に次の通り開催した。

テーマ：英国の EU 離脱交渉の争点・進捗

講師：田中 晋 殿 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 欧州ロシア CIS 課 課長

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア. 各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ. 海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

延べ2回の委員会を開催し、次の事項について審議を行った。

(1) 2019年度第1回（2019年9月3日）

ア. 月刊機関誌「産業機械」2020年の編集方針、年間テーマ

イ. 月刊機関誌「産業機械」2020年12月号その他特集

ウ. 月刊機関誌「産業機械」会員トピックス掲載内容

エ. 月刊機関誌「産業機械」2021年以降の新コーナーアイデア

(2) 2019年度第2回（2019年12月10日）

ア. 月刊機関誌「産業機械」会員トピックス掲載内容

イ. 月刊機関誌「産業機械」2020年12月号その他特集

5. 産業機械工業規格等調査委員会

(1) 委員会

次の通り年2回委員会を開催し、機種別部会の ISO、JIS、JIMS 関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。また JIMS の見直し作業に着手した。

ア. 2019年8月27日

イ. 2020年3月9日

新型コロナウイルスの影響により委員会は中止とし、各部会の活動報告書を連絡した。

(2) 規格関連の情報提供

JIS Z 8301（規格表の様式及び作成方法）改正の情報を提供した。

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2019年4月4日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者6名を表彰候補者として選出し、第591回理事会（書面審議）（2019年4月26日）へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 委員会

ア. 第80回委員会（2019年7月3日）

2019年度事業計画及び2018年度事業報告の確認、2019年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査）、環境活動報告書の作成、施設調査等について審議を行った。

イ. 第81回委員会（2019年12月16日）

2019年度の定例調査の集計結果、環境活動報告書の内容等について審議を行った。

(2) ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主管理のあり方について検討した。

イ. 環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2019年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

(4) 内外動向の調査研究

ア. 定例調査等の実施

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2019年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2019年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

イ. 施設調査等の実施

わが国産業の環境問題への取り組み等を調査するため、日本航空株式会社 JALメンテナンスセンター（東京都大田区）を2019年9月26日に訪問し、整備工場や格納庫のエアバスA350等を視察すると共に、機体整備等について説明を受けた。

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等ワーキンググループ（2020年1月17日）において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

循環型社会形成自主行動計画・低炭素社会実行計画の2019年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

また、低炭素社会実行計画第三者評価委員会（2020年2月18日）において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

(6) 報告書等の取りまとめと情報提供

委員会活動において、「2019年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ、関係機関へ提出する等、情報提供に努めた。

8. エコスラグ利用普及委員会

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進に必要な事業を企画立案すると共に、エコスラグの標準化及び利用普及の推進活動を行った。

また、関係行政機関に協力し、専門家の派遣等利用普及事業の推進を支援した。

(1) 標準化の推進

ア. 講師の派遣

エコスラグに関するJIS改正の説明を行うため、以下の講習会等に講師を派遣した。

- a. 2018年9月、リサイクルポート推進協議会主催「循環資源説明会」

(2) 利用普及の推進

ア. 「エコスラグ有効利用の現状とデータ集（2018年度版）」を2019年5月に発行した。

イ. エコスラグに関する調査

- a. 焼却・溶融施設の調査を行うと共に、スラグ有効利用等の意見交換を行った。

- ・山形広域環境事務組合（立谷川）（2019年6月）（山形県）
- ・山形広域環境事務組合（川口）（2019年6月）（山形県）
- ・東京臨海エコクリーン（2019年10月）（東京都）
- ・ながの環境エネルギーセンター（2019年11月）（長野県）
- ・一般財団法人日本品質保証機構 中部試験センター（2020年2月）（愛知県）
- ・四日市市クリーンセンター（2020年2月）（三重県）

- b. スラグの試験方法（膨張性、ポップアウト確認試験等）を調査し、情報交換を行った。

「一般財団法人日本品質保証機構 中部試験センター」（2020年2月）

ウ. 自治体に対するスラグ利用普及支援

- a. 自治体連絡会の開催

2019年10月3日機械振興会館 B3研修-2会議室で開催し、産官学の情報交換・情報共有を行った。

- b. 自治体連絡会施設見学会の開催

2019年10月4日東京臨海エコクリーン開催し、溶融施設の見学及び有効利用に関する情報共有を行った。

- c. 「自治体通信」の発行

年1回の「自治体通信」を2019年2月に発行し、有効利用の情報共有を行った。

エ. 外部への情報発信

- a. エコスラグ関連記事投稿

- ・産業機械 No. 825（2019.6）

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 講演会の開催

ア. 2019年7月19日

テーマ：次世代型水素ガス発生装置について

講師：仁田 吉郎 殿 エア・ウォーター株式会社 総合開発研究所 主任

イ. 2019年9月19日

テーマ：近畿経済の概要と企画調査課のご紹介

講師：山本 敏明 殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部
企画調査課長

(2) 施設調査の実施

ア. 2019年6月13日にユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社（秋田県秋田市）を訪問し、バイオマス発電所を見学した。また、秋田県産業技術センター（秋田県秋田市）及び秋田酒類製造株式会社（秋田県秋田市）を訪問した。

イ. 2019年7月19日にエア・ウォーター株式会社実証プラント（尼崎市東向島西之町）を訪問し、次世代型水素ガス発生装置（VHR）の見学を行った。

ウ. 2019年10月3日に、錦灘酒造株式会社及び霧島高原ビール株式会社（鹿児島県霧島市）を訪問し、焼酎と地ビールの製造工程を見学した。また、九州電力株式会社大霧発電所（鹿児島県霧島市）を訪問した。

(3) 東西合同会議

2019年10月3日に開催し、2019年度事業計画及びスケジュールについて報告及び検討を行った。

2. 化学機械部会

(1) 講演会の開催

2019年9月11日に次のとおり開催した。

ア. テーマ：令和2年度 経済産業省関係 概算要求のポイント

講師：小橋 厚司 殿 経済産業省 近畿経済産業局 製造産業課長

イ. テーマ：「自動車業界の変革 CASE」について

講師：岡本 隆 殿 K&Mパートナーズ株式会社 代表取締役
中小企業診断士

(2) 施設調査の実施

2019年9月11日にダイハツ工業株式会社 本社（大阪府池田市）を訪問し、第一地区工場の生産ラインの見学を行うと共に、製造工程及び施設の説明を受けた。

3. 環境装置部会

(1) 講演会の開催

2019年7月11日に次のとおり開催した。

ア. テーマ：人知を超えるコンピュータの眼～画像認識技術の最新動向～
(政策委員会と共催)

講 師：佐藤 宏介 殿 大阪大学 副学長 全学教育推進機構長
基礎工学研究科 システム創成専攻システム科学領域
教授

イ. テーマ：超高清浄化とコンパクト化を実現した工業用集塵機 (Iシリーズ)

講 師：西村 章 殿 株式会社流機エンジニアリング 代表取締役会長

ウ. テーマ：浮遊物・浮上油回収装置 (ECO EiT (エコイット))

講 師：鈴木 道雄 殿 永進テクノ株式会社 代表取締役

(2) 施設調査の実施

2019年10月8日に、出光大分地熱株式会社 滝上バイナリー発電所(大分県玖珠郡)を訪問し、低温の蒸気・熱水での発電を可能にする発電施設の見学を行った。

(3) 関係行政機関との交流

2019年10月8日に、大分市役所(大分県大分市)を訪問し、佐藤大分市長から産業政策、企業誘致策について説明を受けた後、意見交換を行った。

4. 風水力機械部会

(1) 役員改選

井上副部会長の退任に伴う改選を行い、2019年9月4日に次のとおり選任した。

副部会長：長岡 一宏 株式会社荏原風力機械 取締役社長(新任)

(2) 講演会の開催

2019年9月4日に次のとおり開催した。

テーマ：カジノの基礎知識とIR(統合型リゾート)構想の多面的考察

講 師：佐伯 英隆 殿 京都大学公共政策大学院 名誉フェロー

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2019年5月14日に次のとおり選任した。

分科会長：河野 俊雄 株式会社キトー 執行役員(再任)

副分科会長：津田 和則 象印チェンブロック株式会社 専務取締役(新任)

(2) 講演会の開催

2019年5月14日に次のとおり開催した。

テーマ：製造業における新たな外国人材の受け入れ

講 師：小橋 厚司 殿 近畿経済産業局 産業部 製造産業課長

(3) 施設調査の実施

2019年11月22日に、トヨタ産業技術記念館(愛知県名古屋市)を訪問し、繊維機械会館で繊維機械技術、自動車館では自動車技術の変遷の説明を受けた。また、日本の産業技術史について研修・見学を行った。その後、トヨタ自動車堤工場(愛知県豊田市)を訪問し、塗装、組立ラインの生産工程の見学を行った。またその後、トヨタ会館を訪問し、最新技術の展示物を見学した。

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年 8 回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

また、下記のとおり講演会を開催した。

(1) 2019年7月11日（環境装置部会との共催）

テーマ：人知を超えるコンピュータの眼～画像認識技術の最新動向～
（政策委員会と共催）

講師：佐藤 宏介 殿 大阪大学 副学長 全学教育推進機構長
基礎工学研究科 システム創成専攻システム科学領域
教授

(2) 2019年9月27日

テーマ：2019年度関西地域設備投資計画調査について

講師：田口 学 殿 株式会社日本政策投資銀行 企画調査課長

7. 労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため次の会議等を実施すると共に、意見交換を行った。

(1) 委員会

ア. 第1回委員会

2019年6月4日に開催し、次の講演会を開催し、意見交換を行った。

テーマ：「同一労働同一賃金」への対応

講師：南 英一 殿 大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター
南社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士

イ. 第2回委員会

2019年11月28日に委員会を開催すると共にパナソニックミュージアム（大阪府門真市）を訪問し、ミュージアムの概要、これまでの取組等についてビデオ・説明を受けた。また、松下幸之助歴史館・ものづくりイズム館を見学し、質疑応答等意見交換を行った。

ウ. 第3回委員会

2020年2月28日に委員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの流行に伴い、中止とした。

8. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 関西大会懇親会

リーガロイヤルホテルにおいて、2019年11月18日の関西大会終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて2020年1月10日に開催した。

9. 各種調査への協力

一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所が実施した関西団体協議会に出席し、活動方針の意見交換や施設調査等を行った。

V 共通基盤事業関係

1. 総会における決議、関西大会における提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2019年5月）
- (2) 日本経済の更なる成長に向けて（関西大会政策提言）〔関西大会（第589回理事会、第69回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2019年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2020年度産業機械の受注見通し（2020年2月28日公表）

3. 風力発電関連機器産業等新エネルギー関連分野の調査研究

2019年6月「第7回風力発電関連産業セミナー」を「風力発電の主力電源化に向けた電力の安定供給」をテーマとして実施した。

4. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえ、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』として9月に実施した。調査結果は11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員各社と情報共有を図った。

また、2020年3月18日に適正取引自主行動計画推進委員会を開催し、昨年11月に中小企業庁で開催された「取引問題小委員会」における検討要請について内容を確認すると共に、来年度の自主行動計画フォローアップ調査の実施方法等について検討した。

5. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカ等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2019年度（第46回）は、全国から14件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、表彰する。

なお、2018年度事業（第45回）において優秀と評価された環境装置について、2019年6月18日に表彰式を行った。

また、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計7名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

表彰対象装置及び受賞者は次の通り。

- (1) 経済産業省産業技術環境局長賞
装置名：超高清浄化とコンパクト化を実現した工業用集塵機（Iシリーズ）
受賞者：株式会社流機エンジニアリング

- (2) 中小企業庁長官賞
装置名：浮遊物・浮上油回収装置（ECO EiT（エコイット））
受賞者：永進テクノ株式会社

- (3) 日本産業機械工業会会長賞
装置名：プッシュプル式粉塵回収機
受賞者：株式会社アンレット

装置名：高粘度汚泥対応汚泥乾燥機
受賞者：三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

装置名：低動力型消化槽攪拌装置
受賞者：メタウォーター株式会社（共同申請）
佐竹化学機械工業株式会社（共同申請）

装置名：汚泥高混焼対応型流動床式ごみ焼却システム
受賞者：荏原環境プラント株式会社

6. 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置について、設備メーカ（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

7. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

(1) 月刊機関誌「産業機械」の発行

2019年は「働き方改革と産業機械」を、2020年は「産業機械が叶えるSDGs」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

2020年 4月号 (No. 835)	プラスチック機械
2020年 5月号 (No. 836)	環境装置①
2020年 6月号 (No. 837)	環境装置②－エコスラグー
2020年 7月号 (No. 838)	産機工が実施した事業・施策の概要
2020年 8月号 (No. 839)	風水力機械
2020年 9月号 (No. 840)	ボイラ
2020年 10月号 (No. 841)	優秀環境装置
2020年 11月号 (No. 842)	化学機械・タンク
2020年 12月号 (No. 843)	業務用洗濯機・健康経営の取り組みについて
2021年 1月号 (No. 844)	経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、 部会長年頭所感
2021年 2月号 (No. 845)	鉱山機械・製鉄機械
2021年 3月号 (No. 846)	運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト (<http://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

また、ウェブサイトをリニューアルし、5月に一般ページを、6月に会員ページを公開した。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2019年5月16日、ホテルオークラ東京において開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2018年度事業報告承認の件
- イ. 2018年度決算報告承認の件
- ウ. 2019年度事業計画決定の件
- エ. 2019年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- カ. 役員補充選任の件

経済産業省 製造産業局長 井上 宏司 殿より挨拶があった。

総会終了後、2019年度産業機械工業功績者表彰式を行った。

また、同表彰式終了後、会員始め多数の来賓を迎え、定時総会パーティを開催した。

(2) 理事会

2019年度に次のとおり9回開催し、各議案について審議を行った。

- ア. 第591回理事会（書面審議）（2019年4月26日）
 - a. 2018年度事業報告（案）及び2018年度決算報告（案）
 - b. 決議（案）
 - c. 常任幹事・幹事補充選任
 - d. 新入会員
 - e. 2019年度産業機械功績者表彰受賞候補者（案）
 - f. 2019年度定時総会の招集
- イ. 第592回理事会（書面審議）（2019年5月14日）
 - a. 2019年度収支予算修正
- ウ. 第593回理事会（2019年5月16日）
 - a. 副会長補充選任及び参与の推薦
 - b. 2018年度下期工業会活動状況
- エ. 第594回理事会（書面審議）（2019年6月28日）
 - a. 新入会員
- オ. 第595回理事会（書面審議）（2019年7月31日）
 - a. 新入会員
- カ. 第596回理事会（書面審議）（2019年9月30日）
 - a. 常任幹事補充選任（案）
 - b. 新入会員
 - c. 令和2年度税制改正に関する産業機械業界の要望（案）
- キ. 第597回理事会（2019年11月18日）
 - a. 政策提言－日本経済の更なる成長に向けて（案）
 - b. 2019年度上期工業会活動状況
- ク. 第598回理事会（書面審議）（2019年12月23日）
 - a. 新入会員
- ケ. 第599回理事会（書面審議）（2020年3月27日）
 - a. 2020年度事業計画（案）及び2020年度収支予算（案）

(3) 運営幹事会

2019 年度に次のとおり 8 回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外情報、当工業会の活動状況等について報告を行った。

ア. 第 64 回運営幹事会 (2019 年 4 月 24 日)

a. 講演

テーマ：英国の EU 離脱交渉の争点・進捗と企業活動への影響

講師：田中 晋 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部
欧州ロシア CIS 課長

b. 常任幹事・幹事補充選任

c. 委員長の委嘱

d. 新入会員

e. 2018 年度事業報告 (案) 及び 2018 年度決算報告 (案)

f. 決議 (案)

g. 2019 年度産業機械工業功績者表彰候補者 (案)

イ. 第 65 回運営幹事会 (2019 年 6 月 18 日)

a. 講演

テーマ：海洋プラスチックごみ問題への対応について

講師：福地 真美 殿 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課
課長

b. 新入会員

ウ. 第 66 回運営幹事会 (2019 年 7 月 24 日)

a. 講演

テーマ：通商白書 2019 概要

講師：大倉 優里 殿 経済産業省 通商政策局 企画調査室
総括課長補佐

b. 部会長の選出

c. 新入会員

エ. 第 67 回運営幹事会 (2019 年 9 月 25 日)

a. 講演

テーマ：型取引の更なる適正化に向けた現状と今後の対応策について

講師：石井 孝裕 殿 経済産業省 大臣官房審議官

b. 常任幹事補充選任

c. 部会長の選出

d. 新入会員

e. 令和 2 年度税制改正要望 (案)

オ. 第 68 回運営幹事会 (2019 年 10 月 17 日)

a. 講話

テーマ：しわ寄せ防止総合対策について

講師：鎌田 篤 殿 経済産業省 中小企業庁 次長

b. 講演

テーマ：女性活躍・ダイバーシティ経営の推進に向けて

講師：積田 北辰 殿 経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室
室長

c. 2019 年度海外貿易会議報告

d. 関西大会の開催

カ. 関西大会 (第 597 回理事会、第 69 回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議)
(2019 年 11 月 18 日)

- a. 講演
 テーマ：関西経済の未来に向けて～経済産業政策の現状と課題を踏まえ～
 講師：米村 猛 殿 経済産業省 近畿経済産業局長
- b. 政策提言－日本経済の更なる成長に向けて（案）
- c. 2019年度上期工業会活動状況
- キ. 第70回運営幹事会（2019年12月18日）
 - a. 講演
 テーマ：経済産業省における健康経営施策と取組方針等について
 講師：丸山 晴生 殿 経済産業省 商務情報政策局
 商務・サービスグループ
 ヘルスケア産業課 課長補佐
 - b. 部会長の選出
 - c. 新入会員
 - d. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
 - e. 新年賀詞交歓会
- ク. 第71回運営幹事会（2020年2月19日）
 - a. 講演
 テーマ：米国の通商政策動向と日本企業への影響
 講師：藤井 麻理 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部
 米州課長
 - b. 2020年度産業機械の受注見通し（案）

(4) 会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行うため、2020年3月11日に開催し、産業機械業界の景気動向、2020年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

(5) 会長、委員長、部会長会議

2019年12月18日に開催し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

(6) 監事監査

2018年度の事業報告及び決算報告について、2019年4月23日に宮田監事（ホソカワミクロン株式会社）、黒木監事（NOK株式会社）によって監査が行われた

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

ホテルオークラ東京において、2019年5月16日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式に引き続き開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

The Okura TOKYOにおいて、2020年1月9日に開催した。来賓を代表され、経済産業省 製造産業局長 高田修三殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2019 年度産業機械工業功績者の表彰

2019 年 5 月 16 日の定時総会において、次のとおり表彰した（表彰順）。

(氏名)	(会社名)	(推薦部会・委員会)
小森 勲 殿	新明和工業株式会社	風水力機械部会
品部 和宏 殿	株式会社クボタ	環境装置部会
砂田 恭秀 殿	株式会社ヒラカワ	ボイラ・原動機部会
三戸 良嗣 殿	株式会社池貝	プラスチック機械部会
山本 和久 殿	日立造船株式会社	関西支部 環境装置部会
渡辺 昭文 殿	U&Mプラスチック ソリューションズ株式会社	プラスチック機械部会

4. 団体生産物賠償責任保険（PL 保険）の提供

2019 年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL 保険）の募集を実施し円滑な運営に努めると共に、2020 年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 全国産業機械野球大会及び産業機械テニス大会等の福利厚生事業

(1) 第 66 回全国産業機械野球大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1954 年から毎年開催していたが、天候等の都合により中止となった。

なお、全日本実業団野球連盟主催の大会出場について、参加予定であったチームより産業機械業界代表として次のとおり推薦することとした。

第 70 回実業団野球全国大会（紅龍旗争奪）	JFE プラントエンジニアリング株式会社
第 73 回実業団野球業種別東京大会（蒼龍旗争奪）	株式会社電業社機械製作所 株式会社 I H I

(2) 第 60 回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960 年から毎年開催している。日刊工業新聞社、日本工業新聞社の後援のもと、2019 年 8 月 31 日に三菱重工業株式会社桜ヶ丘コート（東京都大田区）において開催した。なお、参加は 5 チームであり、上位 3 チームは次のとおりであった。

優 勝	三菱重工業株式会社
準優勝	株式会社荏原製作所
第 3 位	日揮株式会社

(3) 2019 年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年 2 回会長杯ゴルフ大会を開催している。2019 年度の優勝者は次のとおりであった。

ア. 第 1 回	2019 年 5 月 17 日	戸塚カントリー倶楽部
優 勝	谷所 敬 殿	日立造船株式会社
イ. 第 2 回	2019 年 11 月 19 日	茨木カントリー倶楽部
優 勝	川崎 博也 殿	株式会社神戸製鋼所

6. セミナーの開催

2020年2月19日に新春特別講演会を行った。

テーマ：はやぶさ2に集結する日本の技術

講師：久保田 孝 殿 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
宇宙科学研究所宇宙機応用工学研究系 教授

7. 新型コロナウイルス感染拡大への対応

会員企業への影響等の情報収集や、経済産業省からの関連情報等の会員企業への提供を行った他、新型コロナウイルス関連したセーフティーネット業種指定に向けた資料を作成し申請手続きを行った。

一般社団法人 日本産業機械工業会

本 部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電 話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

F A X 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電 話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

F A X 大阪 (06) 6363-3086 番
